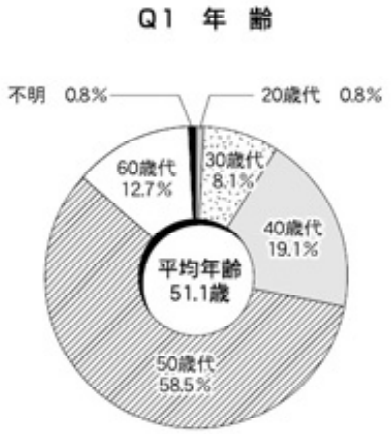
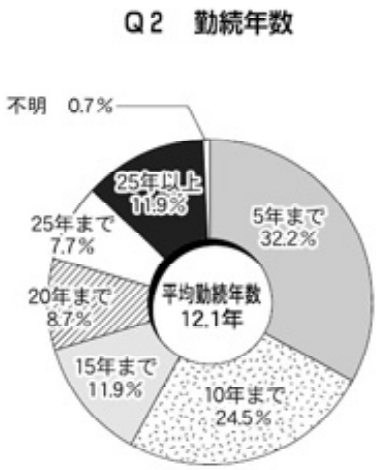
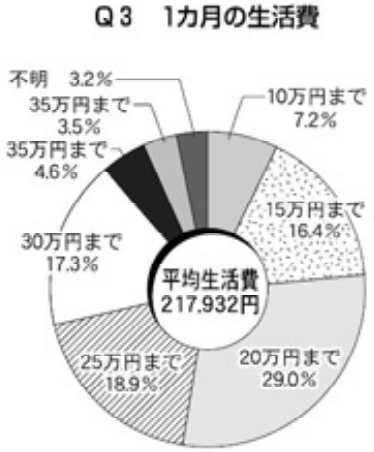
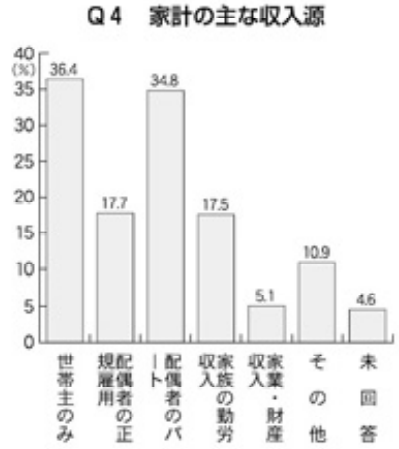
生活破壊の進行まざまざ
全自交労連２００６春闘、生活・労働実態調査

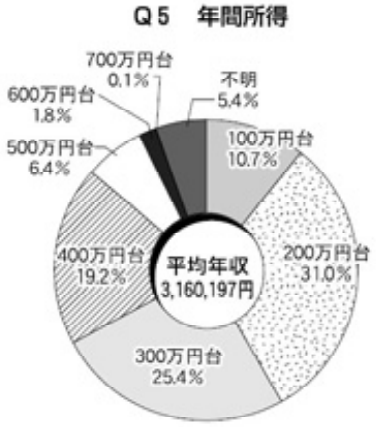
2006 年春闘、生活・労働実態調査
グラフ分析：全自交労連の「２００６春闘、生活・労働実態調査」の集計によると、平均生活費は前年調査と比べ１万円強増加したのに対し、年収平均は３１０．８万円（加重平均）で５万２千円低下し、生活の苦しさがさらに進行しています。そのことを反映するかのように、「貯蓄なし」「貯蓄なし、借金あり」の世帯が５８．６％に達し、「貯蓄あり」世帯は３３．８％という結果になりました。タクシー規正緩和による生活破壊の状況を生々しく物語っています。

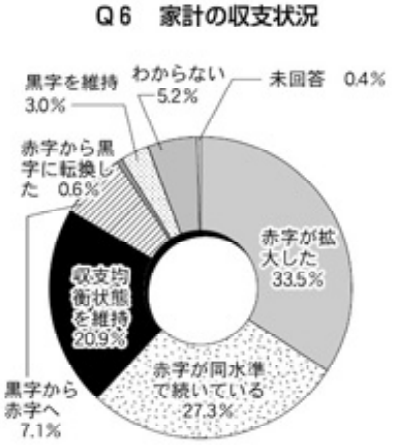


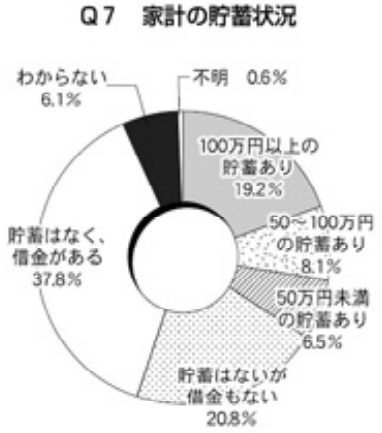


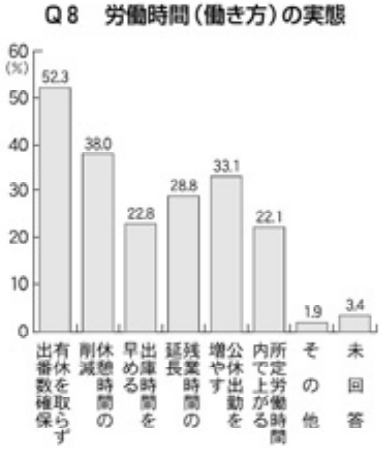


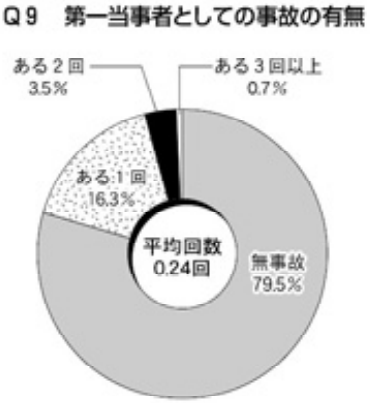






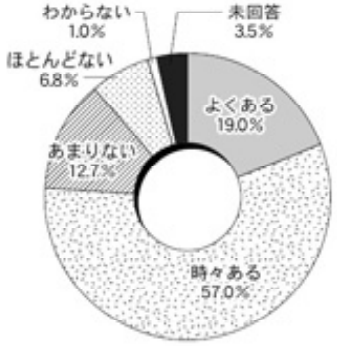




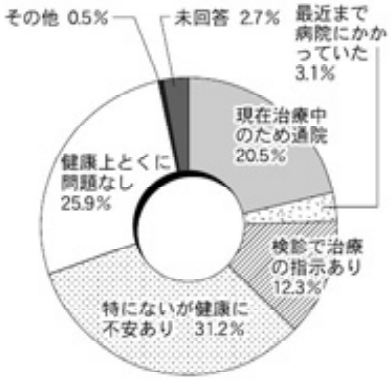


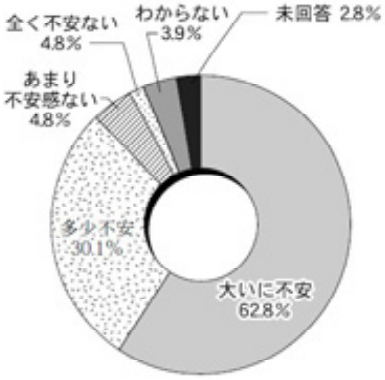
Q10　事故は過労に起因していると思うか

Q11　無事故者に聞く。事故を起こしそうでヒヤリとしたことはあったか



Q12　健康状態



Q13　今後もタクシーを続けますか

Q14　定年退職後の生活展望